

第4章 進行管理

4-1 推進の体制及び評価指標の点検と公表

環境学習を推進するための各施策の評価指標を次のとおり定め、その達成に向けて県民をはじめとして各主体が取組を行い、毎年1回本行動計画に基づく施策の実施の状況を点検し、フィードバックしてホームページ等で公表します。

行動目標項目	単 位	基準年度	最終目標年度
群馬県地球温暖化防止活動推進員	委嘱者数	228人 (平成24年度)	250人 (平成32年度)
群馬県環境アドバイザー	登録者数	254人 (平成24年度)	400人 (平成32年度)
緑のインタープリター	登録者数	38人 (平成25年度)	168人 (平成32年度)
フォレストリースクール	受講者数	1,995人 (平成25年度)	5,200人 (平成32年度)
ぐんま環境学校 (エコカレッジ)	受講者数 累 計	15人 (平成24年度)	180人 (平成32年度)
動く環境教室の稼働	受講者数 累 計	92,646人 (平成24年度)	134,000人 (平成32年度)
尾瀬学校	参加率* (人数)	59.3% (11,224人) (平成24年度)	70.0% - (平成32年度)
ぐんま3R宣言	参加者数 累 計	610人 (平成25年度)	3,000人 (平成32年度)
森林学習センター 入館者数	入館者数	11,118人 (平成25年度)	増加 (平成32年度)
情報の発信	エコぐんま セッション件数	23,800セッション (平成25年度)	増加 (平成32年度)
プログラムの整備	プログラム数	4分野 (平成24年度)	8分野 (平成32年度)
体験の機会場の場	事例数	なし (平成24年度)	2事例 (平成32年度)
連携・協働取組	事例数	なし (平成24年度)	2事例 (平成32年度)

※参加率：当該年度の中学1年生数に対する尾瀬学校参加人数の割合

4-2 行動計画の見直し

- ・本計画は、上位計画である群馬県環境基本計画の見直しにあわせて、計画全体の見直しを行います。
- ・また、法律や国の施策、環境に関する課題や社会経済状況の変化等に対応し、必要に応じた見直しを行います。

群馬県の主な環境学習・環境保全活動に関する事業

I 地域や職場における環境学習等の推進

事業名	主な対象	概要	実績(H25年度)	関係部局
(1) 地域における環境学習・環境保全活動				
環境アドバイザー制度	一般県民	環境保全活動に主体的に取り組む人をアドバイザーに登録するとともに、地域における活動を支援する。	登録者数：270名	環境森林部
地域環境学習推進	一般県民	地域における環境学習会や環境保全活動の企画事業を環境団体等から募集し委託する。	委託数16件、講座数37 参加者延べ1,393人	環境森林部
こどもエコクラブ活動支援	幼児～高校生	小中高学生とサポーター(大人)による地域での環境活動を支援するとともに、体験学習や交流会を実施する。	30クラブ、会員数2,532人、サポーター298人	環境森林部
地球温暖化防止活動推進員(民生)支援	一般県民	身近な温暖化対策を進めるため、担い手となる人を地球温暖化防止活動推進員として委嘱し活動を支援。	委嘱者数(民生部門)：159人	環境森林部
3Rリーダー派遣	一般県民	3Rリーダー(リデュース、リユース、リサイクルに関する知識やノウハウをもった人材)を派遣し、地域、職場での3R活動を推進する。	派遣数：1回(参加者20人)	環境森林部
森林環境教育推進(森の体験ふれあい事業)	一般県民	県立森林公園等において、県民向けの森林環境教育の企画をNPOやボランティア団体から募集・委託する。	4団体委託、実施回数16回、延べ393人参加	環境森林部
水・土・農ふれあい探検隊	小中学生ほか	農地・農業水利施設の整備状況や農作物の生産現場を見学・学習し、農業や農業農村整備事業の役割について理解してもらう。	参加者数：35人	農政部
県民探鳥会	一般県民	野鳥観察を通じて、身近な自然環境の重要性・植物との共生の必要性を学ぶ機会を提供する。	参加者数：41人	環境森林部
砂防公開講座「群馬県水環境健全性指標を用いた河川環境調査方法について」講師派遣	一般県民	新たな河川環境評価手法を解説する。実際の河川において簡易な水質検査キットを用いて河川環境調査を体験する。	派遣数：1回(参加者24人)	健康福祉部
出前何でも講座「新たな河川環境評価手法(水環境健全性指標)について、水の分析方法」	一般県民	新たな河川環境評価手法、水の分析方法を解説する。簡易な水質検査キットを用いて実際の河川水分析を体験する。	NPO団体職員15人	健康福祉部
大気環境に関する体験型環境学習	小学校 高学年以上	衛生環境研究所の専用機器を用いて、本格的に大気汚染物質を調査し、地域の大気環境の状態を考える。	こどもエコクラブ20人(おもに小学生)	健康福祉部
(2) 職場における環境学習・環境保全活動				
環境GS認定制度	事業者	環境マネジメントシステムの導入促進を図るとともに、事業者の自主的取組を支援する。	登録数：1,976事業者	環境森林部
地球温暖化防止活動推進員(運輸・産業部門)支援	事業者	事業所内の温暖化対策を進めるために、担い手となる人を地球温暖化防止活動推進員として委嘱し活動を支援する。	委嘱者数(運輸・産業部門)：46人	環境森林部
エコアクション21認証・登録支援事業	事業者	環境GS認定事業者を対象として、無料集合コンサルティングを実施し、エコアクション21認証・登録を目指すGS認定事業者を支援する。	申込数：2事業者	環境森林部
エコ通勤推進事業	事業者	マイカー通勤から公共交通機関、自転車、徒歩など環境にやさしい通勤への転換を進める。	環境GS認定事業者等へのポスター・チラシ配布による啓発	県土整備部 環境森林部

II 学校における環境学習等の推進

事業名	主な対象	概要	実績(H25年度)	関係部局
(1-1) 学校における環境学習等				
ストップ温暖化県民アクション推進(子供版)	小中学生	温暖化防止に関する身近な行動リーフレットを学校を通じて配布し取り組んでもらう。	報告者数：6,371人	環境森林部
移動環境学習車「エコムーブ号の運営」	小中学生	実験機材を搭載した「エコムーブ号」を活用、小中学校等において実験主体の環境学習を実施する。	利用件数79件	環境森林部
3Rリーダー派遣(再掲)	小中学生	3Rリーダー(リデュース、リユース、リサイクルに関する知識やノウハウをもった人材)を派遣し、学校での3R活動を推進する。	派遣数：1回(参加者20人)	環境森林部
尾瀬学校	小中学生	尾瀬での自然体験を通して自然を守る意識と郷土を愛する心を育む。	157校、11,561人	環境森林部 教育委員会
移動尾瀬自然教室	小中学生	自然解説員等が学校を訪問して映像や小道具を使って、尾瀬や自然のしくみ等を紹介し、自然や環境に関する意識を高める。	15校、1,077人	環境森林部
小中学生のためのフォレストリースクール	小中学生	森林や緑の重要性を学び、心豊かな人間性を育てる。	36校、2,809人	環境森林部
緑の少年団育成	小学生	森林や緑の重要性を学び、心豊かな人間性を育てるために、緑の少年団の育成を図る。	団員数：62,294人	環境森林部
青少年自然体験	小学生ほか	自然体験や生活体験事業を通し、子ども達の主体性や社会性を育み、親子や異世代の交流を推進する。	参加者数：1,966人	教育委員会

II 学校における環境学習等の推進(続)

事業名	主な対象	概要	実績(H25年度)	関係部局
(1-2)学校における環境学習等				
体験型の環境学習(尾瀬高等学校)	高校生	環境専門科目を通して、尾瀬など地域の豊かな自然を生かした環境学習を実践する。	生徒数:81名、延べ700時間	教育委員会
ぐんま昆虫の森における学校団体利用の受入れ	幼保・小中学生	ぐんま昆虫の森において、自然観察や里山体験など多様な体験プログラムを通じて、生徒児童の校外での環境学習を支援する。	488団体 30,827人	教育委員会
愛鳥モデル校巡回指導	小学生ほか	愛鳥モデル校の児童生徒を対象に講話・研修・屋外実習を実施し、野鳥に関する知識と愛鳥思想の普及を図る。	愛鳥モデル校24校のうち5校で実施	環境森林部
大気環境に関する体験型環境学習(再掲)	小学校 高学年以上	衛生環境研究所の専用機器を用いて、本格的に大気汚染物質を調査し、地域の大気環境の状態を考える。	・中学校科学部22人 ・高校20人	健康福祉部
(2)教職員の研修、環境学習の充実				
国が主催する環境教育研修への教員の派遣	教職員	環境問題に関する専門的な知識と児童生徒への指導力を備えた教員を養成する。	H25休日のため未実施	教育委員会
研修講座(環境教育研修講座)の実施	教職員	児童生徒の実体験を伴う環境学習の実現に向け、自然観察や教材製作等の研修を行い、教員の指導力の向上を図る。	・講座数:2回(2分野各1日) ・参加者延べ:19人(小8中5高4特2/人)	教育委員会
環境教育実践事例集「みんなの環境わたしたちの実践」	小学校~高等学校	小学校、中学校及び高等学校の優れた取組を1校ずつ紹介。	紹介校: 高崎市立六郷小学校、 渋川市立小野上中学校、 群馬県立勢多農林高等学校	教育委員会

III 活動の連携・協働取組

事業名	主な枠組み	概要	実績(H25年度)	関係部局
エコDO推進団体の登録公表制度	環境団体、行政	環境ボランティア団体等をエコDO推進団体として登録・公表し、ネットワークづくりを進める。	登録数:57団体	環境森林部
レジ袋削減推進	環境(消費者)団体・事業者・行政	レジ袋削減を図るために、環境(消費者)団体、事業者、市町村、県が連携して、マイバッグの普及促進を図る。	県内全市町村 35団体 事業者 14団体 消費者団体 10団体 計59団体	環境森林部
地球温暖化対策地域協議会	県民、事業者、行政	県民(地球温暖化防止活動推進員)、事業者、市町村、県が連携して地域の実情に応じた温暖化対策を進める。	県内5地区の協議会	環境森林部
地球温暖化防止活動推進センター	NPO、県民、事業者、行政	NPO、県民、行政が協働して地球温暖化対策に関する普及啓発事業(出前講座、資料配布など)を実施する。	環境GS認定事業者等支援業務委託 家庭の節電・省エネプロジェクト業務委託 など	環境森林部
群馬県エコドライブ普及推進協議会	運輸・経済団体、行政	エコドライブ講習会、イベントなどを開催し、エコドライブの普及促進を図る。	県内6つの団体により構成	環境森林部
リスクコミュニケーションの推進	県民、事業者、行政	リスクコミュニケーションに関する説明会の開催を通して、その普及を図る。	環境GSマネージャー研修会において説明を実施(1回)	環境森林部
美しい郷土を守る県民大作戦(協働)	県民、事業者、行政	環境美化月間等を設け、県民、事業者、行政の協働による環境美化活動を展開し、マナー意識の向上を図る。	実施市町村数 累計 清掃活動54、啓発活動28	環境森林部

IV 主体的に活動ができる人材の育成

事業名	主な対象	概要	実績(H25年度)	関係部局
環境アドバイザー制度(再掲)	アドバイザー	定期的に研修会を開催するとともに、連絡協議会運営の運営支援を通して相互交流を深める。	登録者数:270名	環境森林部
移動環境学習車「エコムープ号」(再掲)	サポーター	定期的に研修会を開催し、学習プログラムの習得を図るとともに、サポーター間の相互交流を図る。	利用件数79件	環境森林部
地球温暖化防止活動推進員(再掲)	活動推進員	定期的に研修会を開催し、指導員間の相互交流を図る。	委嘱者数(民生部門):159人	環境森林部
ぐんま環境学校(エコカレッジ)	一般県民	地域等で環境学習・活動を主体的に実践する人材を育成。	8日間、受講者数:18名	環境森林部
尾瀬子どもサミット	小中学生	群馬・福島・新潟の子ども達が自然体験の共有や意見交換を行い、交流を図るとともに、自然保護や環境保全の意識を高める。	20名(福島県・新潟県 各20名、合計60名参加)	環境森林部

V 環境学習等の拠点機能・情報発信

事業名	主な対象	概要	実績(H25年度)	関係部局
群馬県環境サポートセンター	一般県民	環境学習や環境教育推進にかかわる行政サービスを充実強化するため、学校や地域における環境学習を総合的に支援する。	環境学習のサポート全般(総合窓口)	環境森林部
環境情報ホームページ「ECOぐんま」	一般県民	本県の環境情報を分かりやすく発信したホームページを開設。	閲覧数23,800件	環境森林部
地球温暖化防止活動推進センター(再掲)	一般県民	温暖化対策に関する普及啓発事業を実施するとともに、各種の情報を提供する。	環境GS認定事業者等支援業務委託、家庭の節電・省エネプロジェクト業務委託 など	環境森林部
群馬県森林学習センター運営	一般県民	森林体験活動の場を提供し、啓発行事を開催して県民参加の森づくりへとつなげる。	来場者等利用者数は横ばい傾向	環境森林部
群馬県生涯学習センター(少年科学館)	小中学生	科学実験・科学工作・野外活動などの体験活動を通して、科学する心を育てるとともに、自然の不思議さや面白さに触れる機会を増やす。	少年科学館入館者年間96,986人	教育委員会
ぐんま昆虫の森の運営	一般県民	自然体験学習の場として整備した昆虫の森において、自然観察会や里山生活体験等各種プログラムを実施する。	来園者年間103,256人	教育委員会
ぐんま天文台運営	一般県民	学校をはじめ、各種利用者に適したきめ細やかな教育普及活動に取り組み、天文・自然科学への興味・関心を高める	入館者年間34,662人	教育委員会
市民活動支援	NPO,ボランティア団体、行政	市民による環境保全活動を支援するために、NPO・ボランティアサロンぐんまやHP等により活動に関する情報提供や交流機会の提供を行う。	NPO・ボランティアサロンぐんま利用者数:8,826人、NPO・ボランティアのひろばHPアクセス数:43,419	生活文化スポーツ部
図書館	一般県民	環境関係資料の貸出や閲覧等の情報の提供を行い、環境学習を総合的に支援する。	入館者年間 302,228人	教育委員会
群馬県尾瀬山の鼻ビジターセンター運営	一般県民等	尾瀬国立公園を訪れる入山者に対し、公園利用のマナーや自然情報を発信し、自然保護や環境保全に関する普及・啓発を行う。	入館者数121,245人(5月中旬～10月下旬)	環境森林部

VI 啓発イベント

事業名	主な対象	概要	実績(H25年度)	関係部局
ぐんま環境フェスティバル	一般県民	循環型社会の実現に向けて環境問題の現状や取組を楽しくわかりやすく理解してもらう。	来場者数:約5,000人	環境森林部
ぐんま山と森の月間(ぐんま山の日)	一般県民	自然観察会や森林ウォークなど県民参加型のイベントを実施し、山や森林への理解を深めてもらう。	イベント数41件 参加者数28,250人	環境森林部
森と木のまつり	一般県民	森と木のまつりを開催し、森林・林業の大切さを県民にアピールする。	参加者数23,415人	環境森林部
自然観察会と保護活動	一般県民	自然環境保全地域をはじめとする良好な自然環境を有する地域において、自然観察会と保護活動を実施し、自然保護思想の普及啓発を図る。	参加者:92名	環境森林部
環境セミナー	一般県民	水環境の改善及び本県の豊かな水資源の有効利用を図るために開催している。平成25年度は「群馬県の温泉について」というテーマで、自治体職員・地域住民を対象に、群馬県温泉協会から講師を招いて講演会を実施した。	参加者:88名	健康福祉部
ぐんまウォーターフェア	小学校 中高学年	水の大切さや水源施設の重要性について理解を深めてもらう。	来場者2,200人	企画部

VII 自主的な取組に対する顕彰

事業名	主な対象	概要	実績(H25年度)	関係部局
群馬県環境賞	一般県民等	環境分野で優れた活動、調査研究等の功績に対し群馬県環境賞を授与する。	受賞数:15人・団体	環境森林部

群馬県環境ボランティア団体一覧（ホームページ）

群馬県地球温暖化防止活動推進センターのホームページにおいて、群馬県内で活動している環境ボランティア団体の情報等を紹介しています。

平成26年7月2日から公開をはじめ、平成27年1月現在で登録団体は100団体を超えました。

<http://www.gccca.jp/volunteer/>

このホームページは、より多くの人に環境活動に対する関心を深め、活動への参加を促すことを目的に作成しています。

この取組をとおして、群馬県内の方々とボランティア団体へのつながりや、地域を越えたボランティア団体同士のつながりを広げ、県内の環境活動や地域の活性化を図ります。

ボランティア検索

【キーワード】 【地域】 群馬県全域 ▼

【活動分野】

温暖化防止
 自然観察・保護
 都市緑化
 環境美化
 環境調査
 植林・森林整備
 水辺の保全・活用
 里山の保全・活用
 環境教育・環境学習
 自然体験
 クラフト
 廃棄物・リサイクル
 自然エネルギー
 省エネルギー
 その他

【全 102 件中 1 件 ~ 30 件を表示】

1 2 3 4 次へ

各団体の概要については団体名をクリックしてください

団体名	概要
菜の花プロジェクトin甘楽	《主な取り組み》 1. 遊休農地を借り上げ、菜の花を栽培しています。 2. 収穫した菜種を搾油し、道の駅や町内の商店で販売しています。 3. 使用した油は捨てずに回収してBDFへのリサイクルに回し、トラクターなどの燃料として使用し、資源循環型社会を目指しています。 ...
環境市民ネット	<これまでの主な取り組み> ・毎月の例会（自由な意見交換） ・生ごみの堆肥化実践と呼びかけ、雑紙回収とリサイクルペーパーの利用呼びかけなど ・省エネの工夫、水や食の安全、原発、狂牛病、遺伝子組換え、環境放射線量などについての講演会や講座の開催 <活動日と時間> ・ ...
アドベンチャー集団Do!	《主な取り組み》 ①「ガキ大将・スクール」などの子ども向け冒険キャンプや、低年齢児と保護者向けの「森のようちえん」、日帰りから5泊程度の自然体験事業を、年間を通して主催・実施。 ②小学校向けの林間学校（移動教室）におけるネイチャースクールやアウトドアクッキングなどを年間を...
萬屋レク之助	各種指導をしています。 1. キャンプ 2. レクリエーション 3. ネイチャーゲーム 4. 星空観察 5. 野外調理 6. クラフト ※活動曜日や時間については、ご相談ください。
エコマネーおおた	当団体は「環境にやさしい元気なまちづくり」をモットーに、しっかりしたコミュニティーづくり、エコロジー、エコノミーとの調和のとれた社会を目指して、地域通貨「ありがとう券」なども利用して、出会いの場づくり、会員の交流や地域貢献活動を行っています。 ○主な活動 1. お手...
緑のカーテンボランティア	「日本一暑いまち」館林市が実施している、夏をエコで涼しく過ごすための緑のカーテンの普及活動に協力しています。 種から育成した苗の配布、収穫したニガウリを使った料理教室運営のお手伝い、公共施設に設置した緑のカーテンの育成など、様々な活動を春から秋にかけて随時行ってい...

※ 群馬県環境学習等推進行動計画策定の経緯

「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」が平成15年度に成立し、教育基本法が改定された平成17年度に「群馬県環境学習推進基本指針」（以下「基本指針」という。）を策定した。

平成23年度に本法が「環境教育等による環境保全の取組に関する法律」として改正され、体験の機会の場などの新しい制度の創設とともに、行動計画の策定などが規定された。

そこで、理念的である基本指針を引き継ぎ、具体的な環境学習の行動へつなげるための行動計画として、目標とそれに対する取り組みや推進施策を五つの柱として定め、検討委員会を組織し検討を行った。

・経過

平成25年10月	群馬県環境学習等推進行動計画（仮称）検討委員会設置
平成25年11月	第1回検討会議 行動計画方針説明
平成26年 2月	第2回検討会議 行動計画骨子案の検討・決定
平成26年 7月	第3回検討会議 行動計画素案を検討
平成26年11月	第4回検討会議 行動計画最終案作成
平成27年 1月	行動計画原案についてパブリックコメントを実施
平成27年 2月	群馬県議会平成27年第1回定例会に原案を上程
平成27年 3月	群馬県議会平成27年第1回定例会で可決

※参考 群馬県環境学習等推進行動計画検討委員会構成員名簿

	所 属	氏 名
1	国立大学法人群馬大学教育学部教授 （群馬大学附属中学校長）【委員長】	西 蘭 大実
2	前橋市児童文化センター副参事兼館長	塩崎 政江
3	群馬県立吾妻高等学校教諭	高橋 みつ子
4	群馬県立桐生工業高等学校教諭	富岡 賢洋
5	環境カウンセラー	笛木 京子
6	しらさわエコキッズクラブ代表サポーター	阿部 倫典
7	環境アドバイザー連絡協議会代表	須永 徹
8	公益財団法人群馬銀行環境財団事務局長	松田 直樹
9	群馬県生活文化スポーツ部NPO・多文化共生推進課長	服部 芳幸
10	群馬県環境森林部緑化推進課長	半藤 和之
11	群馬県教育委員会義務教育課長	野村 晃男
12	群馬県教育委員会高校教育課長	鶴生川 隆之
13	群馬県教育委員会生涯学習課長	下田 明英
14	群馬県教育委員会総合教育センター所長	宮内 伸明
15	群馬県環境森林部環境政策課長 ※事務局 環境政策課	飯塚 幸生

群馬県環境学習等推進行動計画

平成27年度 - 平成32年度

平成27年4月

編集・発行

群馬県環境森林部環境政策課

〒371-8570 前橋市大手町一丁目1番1号
電話 027-223-1111 (代表) 内線 2821



Gunma-chan

環境学習を進めよう!!



自然観察をしよう!!



緑を育てよう!!



環境美化やリサイクルに取り組もう!!



こまめに節電しよう!!